

表紙に使用している画像は創作和紙で、色染めした楮を和紙で挟んで造形した作品です。作り手による様々なスタイルの新しい和紙が生まれています。和紙に合わせてあしらった色は紅梅色と青色。紅い梅の花の色と明るい空の色です。

P.2-3
**指定管理者
制度!?**
3施設の更新
さらなるサービスの向上へ

P.5
動き出す
町立中学校の再編
57年ぶりの校名
決定「**小川中学校**」
新しい
学校づくりへの決意



「絶対に負けられない戦い」が「こころ」はある(裏表紙に関連記事)

No.110 あがき 2023 12月定例会 あがき 埼玉県小川町議会

新シリーズ P.12
16の**一**歩!!
進み続ける**議会**



信頼される議会は、
全議員で
学ぶことから
始まる
高橋功人議長

議会改革の老舗
長野県飯綱町議会を
視察

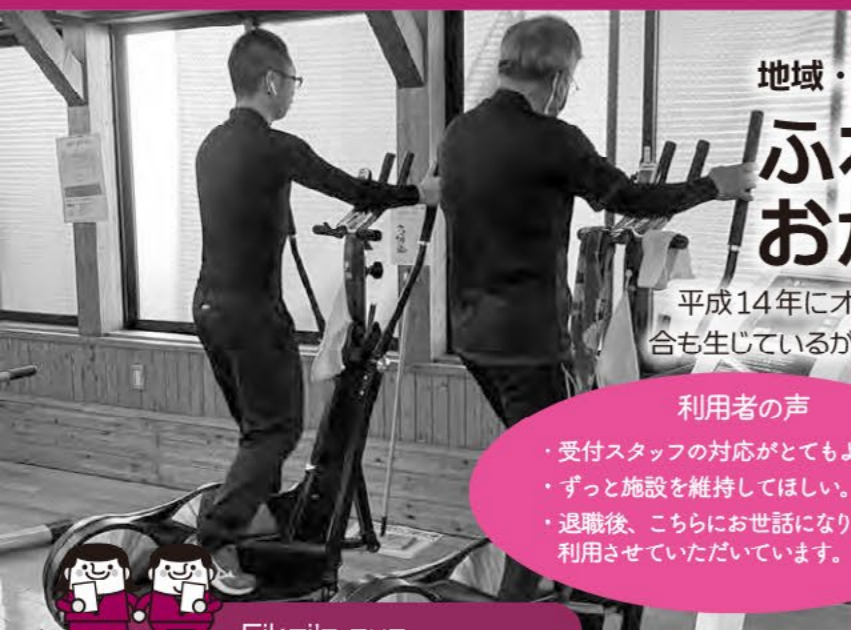
歩いて・見て・
聴いたこと P.6-11
一緒に見よう・
考えよう

10人**10**色の
一般質問

さらなるサービスの向上へ 3施設の 指定管理を更新

「指定管理者制度」は、町施設の管理運営を民間事業者等に託し、そのノウハウを活用することで、
 おいて、下記3施設の指定管理者を決定しました。新たな指定期間をスタートする各施設でインタビュー！

さらなる「サービスの向上」や「経費縮減」などに繋げることを目的としています。先の12月定例会に
 現場の声をお届けします。



地域・高齢者の健康増進と介護予防の拠点

ふれあいプラザ おがわ

指定期間
令和6年4月1日から5年間



平成14年にオープンし、21年が経過。施設・設備の老朽化で不具合も生じているが、トイレの改良など、利用者の利便性も図られている。

利用者の声

- ・受付スタッフの対応がとてもよいです。
- ・ずっと施設を維持してほしい。
- ・退職後、こちらにお世話になりいつも利用させていただいています。



健康増進と生きがい活動の支援を

新型コロナウイルス感染症の影響で大幅に減少した利用者の回復が求められる。介護予防の拠点として高齢者の利用率が高いので、さらなる「利用者への安全対策」に期待する。

運営側の声

株式会社オーエンス

ローラーすべり台・アスレチック遊具等安全面を最重要として運営しています。子供向けのイベントも力をいれています。今後は、道の駅と連携を深め、さらに魅力ある施設にしたいです。



営業部長 鈴木朋子さん
 リーダー 荻野勝治さん



Gikai's eye

さらなるPR活動と道の駅との連携を

令和4年トイレを改修後、利用者の満足度がさらに高まった。施設の魅力は多くありホームページの充実や動画配信など「様々な手段を駆使したPR」が求められる。リニューアルが進む「道の駅の周辺整備としての利活用」に期待する。

町の魅力を発信する代表的な観光場所の1つ

仙元山 見晴らしの丘公園

指定期間
令和6年4月1日から3年間



展望台からは、北関東の山々を見渡せ、全長203メートルのローラーすべり台は、誰をも魅了する。

利用者の声

- ・体力づくりのために週2回程、林道を走っています。四季折々の美しい自然は、心と体を癒してくれます。

柏保厚一さん
 (神明町)

働く保護者の応援施設

八和田学童クラブ

指定期間
令和6年
4月1日から3年間



平成18年に開設し、当初から指定管理者による運営がされている。現在の利用児童は1年生から5年生まで36人。

利用者の声

- ・宿題をやらせてくれるので助かります。
- ・学年問わずに遊べるのがいいです。
- ・お弁当のメニューを子供向きにしてほしいです。

保護者 辻木さん親子
 (上横田)



運営側の声

シダックス大新東
 ヒューマンサービス株式会社

子供たちが自主的に取り組めるようになっています。また、子供も保護者も職員も対等の立場で接して、話し合うようになっています。

エリアマネージャー 衛藤 淳さん



次ページは
 議案質疑！

9月定例会の閉会（10月19日）からほどなくして開催された今次定例会（11月30日～12月12日）、物価高騰対応として延長された「水道料金の減免」を含む一般会計補正予算をはじめ、議員・職員等の期末手当の引上げに係る条例改正など、全24議案をチエック。主なやりとりをピックアップします。



発言全文（小川町議会会議録）は3月上旬から議会ホームページで閲覧できます。

一般会計補正予算

高齢者施設の設置が白紙に
「東小川学校跡地事業」の行方は

Q 旧上野台中学校の改修等の費用が示されたが、内容は。

A 高齢者施設・介護士養成教室の運営を予定していた事業者が撤退してしまったため、改めて3階部分にサテライトオフィスとしての活用を図るものです。

和紙体験学習センター

Q 今回示された修繕の内容は。また、老朽化が著しい施設の対策等は。

A 今回は、楮の皮を叩きほぐすための「打解機」の修理費用です。また、施設自体が老朽化しているため、修繕を要する部分が多くなっています。第一に安全面を、次に機能面を優先し修繕していきます。

文化財の保護と活用

AQ 八幡台の遺跡発掘調査の成果は。住居跡、土坑、埋蔵等の調査で、これまでの調査内容を補充する貴重な遺構及び遺物が出土しました。



遺跡の発掘は町の歴史を知る上で大切！

会計年度任用職員

武藤洋子さん（角山上）

関口克己さん（増尾）

決定

物価高騰に対応した支援2事業

国が示した交付金を活用し、物価高騰の影響を受けた生活者・事業者へのスピーディな支援を決定しました。

水道基本料及びメーター使用料の減免

- ・対象者 全ての水道使用者
- ・期間 令和5年12月から令和6年3月までの4か月間
- ・予算 6076万円（一般家庭で4800円程度を減免）

議会提案で始まった水道の減免4回目！



1日も早い給付の実現を！



低所得者支援給付事業

- ・対象者 世帯全員が令和5年度の住民税均等割が非課税（令和5年12月1日時点で、小川町住民基本台帳に記載されている約3200世帯）
- ・給付 1世帯当たり7万円
2月下旬予定

その他の条例改正

動き出す町立中学校の再編
新校名は「小川中学校」に決定



学校再編計画はコチラから

Q 令和7年度に新設校として再スタートする現・榊台中学校。広く校名を募った結果「小川中学校」

とする旨の条例改正が示されたが、経緯や意気込み等は。
A 校名募集をする上で「必ずし

西中と比べて、校則や行事などがいろいろと変わってくると思うので少し不安です。でも、新しい友だちや環境の変化に楽しみな気持ちもあります！
おがわまほろ 小川真歩さん

西中で最後の3年生を過ごせないことは寂しいけど、新しい中学校の最初の卒業生になれることは楽しみです。新しい環境で受験も頑張りたいです！
さきやのつき 関谷実月さん



正直、榊台中の人と仲よくなれるか不安もあるけど、僕は1度転校した経験があるので大丈夫だと思います！
ねぎしたくろ 根岸巧夢さん

中学校生活最後の1年間を「小川中学校」で過ごすことになる。現・西中学校1年生の3人に率直な想いを聞きました！



も多数決では決定しない」という前提で行いましたが、結果として最多数の応募があった「小川中学校」となりました。応募理由の中に「町で1つの中学校になるから」や「小川にある中学校だから」「中学校が1つにまとまってよいと思うから」などがありました。まさにこれらの理由以外にはないと捉えられました。また、教育の本質は変わらなくても、時代に合わせた改革や、社会的現象における変革は必要です。学校再編も然り、それらを小まえて、多くの「思いの負託」を受けた新しい学校づくりを努めていきます。

学校施設の処分に係る基金

Q 基金の設置と積立（1437万円）は、今後も生じる「学校跡地の利活用」に影響を与えるか。

A 国庫補助を受けて整備した学校施設を財産処分する場合、その後の活用内容によって、手続方法や国に返還する納付金の有無に違いが生じます。

この積立基金が、学校跡地における利活用の方法を左右するものになるとは捉えていません。今後地域の見解を聞きながら町全体の公共施設の在り方などを踏まえ、進めていきます。

職員等の給与の引上げ

Q 人事院（国）などの給与に関する勧告を尊重し「町長ほか特別職の期末手当」や「一般職員等の給与など」の引上げが示された。町民の厳しい目や声に対してどのような説明を図っていくのか。

A 勧告制度は、労働基本権制約の代償措置の根幹であり、尊重されるものと捉えています。仮に批判や意見が届いた場合も同内容を説明し、理解を図っていきます。

57年ぶり！



57年ぶりに「小川中学校」の校名が使われると聞き、当時を懐かしく思います。剣道部は旧警察署の道場に通い腕を磨いたものです。
小久保元芳さん（栄町）

小川町議会だよりは

町民登壇に「タワル」

広い年代の皆さんに、たくさん登場していただきます（裏表紙も）ご覧ください。





小川町議会だよりは

文字にコダワル!

高齢者や視覚の弱い方にも読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用します!

Q 車庫詰所・車両積載品の整備計画は。

A 防災地域支援課長 定期的な点検を実施し、緊急出動等に不具合などが発生した場合には、速やかに応急修繕等の必要な措置を講じています。今後も消防署や消防団との連携を図り、施設・車両の適切な維持管理に努めます。



日々の訓練に感謝

Q 防災訓練への考えは。

A 防災地域支援課長 地域の特長や実情に応じた、きめ細やかな備えが誰にでも可能となるような活動を進めていきます。また、町全体の底上げとともに、地区ごとの合同訓練などにつながるよう事業を展開し、多くの町民が参加してもらえる充実した訓練を目指します。

Q 機能別消防団の設置は。

A 防災地域支援課長 機能別消防団の有用性は認識していますが、現在、消防団は11人の不足が生じているため、定員数の充足を第一の目標に掲げ、団員募集を進めます。現在は、消防団OB会の持つ知識や経験を生かし、活躍してもらうことで同様の効果が得られているものと考えています。

減災対策



おかべひさし 岡部久志議員が町に問う!

実践的な防災訓練の実施を

答弁 住民参加の充実した訓練を目指します

Q 産後ケア事業の開始は

A 自治体の84%で導入し、実施

Q 産後ケア事業の開始は

A 自治体の84%で導入し、実施



腰中地区のいきいきサロン

Q 当町の高齢化率は、令和4年度40・3%で、県内で鳩山町、東秩父村に次いで第3位である。高齢者やアクティブシニアとして活躍している方々のさらなる健康長寿を延伸できるような支援が重要と考えるが。

A 長生き支援課長 「ウルトラ防犯パトロール隊」をはじめ、地域のボランティア活動やスポーツ活動を進めています。また「いきいき百歳体操」などの介護予防事業への参加等、アクティブシニアの活躍を支援しています。令和5年5月には庁内検討チームを立ち上げ、新たな支援策の検討を行っているところです。

Q 子育て支援課長 産後ケア事業の実施には至っていませんが、従来から乳児家庭全戸訪問や産婦健康診査、養育支援訪問によるフォローを行っています。産後ケア事業の実施により母子に対する支援が一層進むことが期待されますので、事業開始を目指し、検討を進めていきます。

アクティブシニア



たかはし 高橋さゆり議員が町に問う!

高齢者の活躍への支援は

答弁 新たな支援策の検討を行っています

2年連続
議会議員の期末手当を0.1か月分引上げへ
年間支給 4.40か月分→4.50か月分

昨年度に引き続き、人事院(国)及び人事委員会(埼玉県)からの勧告を尊重し、期末手当の引上げを行いました。また、町長・副町長・教育長・町職員の期末手当等の引上げに関する各議案も全会一致で可決しました。

今回も「議員提出議案」として上程し、全会一致で期末手当の引上げに踏み切った。事前のやり取りでは過去の申し合わせや、各勧告の意義などを再確認し、それらを最大限に尊重することとした。今後進めていく「議会の改革・活性化」の取組において「議員報酬等の在り方」についても見直しを図っていく。

公開します 議決結果はIPでも見られます→
審議した主な議案

議員の賛否内訳と審議結果
○…賛成 ×…反対
一印…議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します

議案名	田中立男	関根慶則	岡部久志	田端良成	稲村壤治	鈴木秀尚	五十嵐康博	笠原規弘	大戸久一	田中照子	笠原英彦	高瀬勉	高橋さゆり	山口勝士	島崎隆夫	高橋功人	審議結果	
一般会計補正予算(第5号)・(第6号) 予算現額106億3840万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
一般職の職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
町長及び副町長の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決

10の視点 一般質問

全質問項目は小川町ホームページから見られます。議会だよりでは議員ごとに要約版で掲載。全文(会議録)は令和6年3月上旬に公開予定です。

「歩いて・見て・聴いた」ことを踏まえ、議員が自身の提言も交えて町に考えを質す。持ち時間75分の論戦。手に汗握る激論の数々。質問者の「カラー」が映えるやりとりは必見です。

皆さんはどのテーマに関心がありますか?

- P.11 環境問題
- P.11 広報おがわ
- P.10 住民自治
- P.10 認知症対策
- P.9 インフルエンザ
- P.9 公共交通
- P.8 自転車の安全
- P.8 道の駅
- P.7 アクティブシニア
- P.7 減災対策

なんとと言っても西光寺のカタクリが好き。ぜひ、みんなに見てほしい。
(O・Mさん 60代)

春よ来い♪ Vol.24
あなたのオススメ花スポットは?

Mini Interview P11までつづきます!
オガワマチのこと・ギカイのこと
「一緒に見よう、考えよう」



かさはらのりひろ 笠原規弘議員
が町に問う！

道の駅

事業費や将来負担の公表は

答弁 時機を見て周辺整備も含めて示します

Q 「世代間の公平」を理解してもらうために、総事業費やライフ・サイクル・コストを含めた将来負担を公表すべきでは。

A にぎわい創出課長 基本計画において長期収支シミュレーションを行っており、社会経済状況を注視しながら効率的で効果的な事業に努めます。時機を見て、周辺整備を含めて示します。

Q 財源不足を解消する「小川町財政運営指針」では、小川町駅北側整備事業などの重点3事業に、優先的に予算を配分する指針を示したが、道の駅再整備事業との整合性を図るべきではないか。

A 政策推進課長 重点3事業の全てが実現できているわけではありませんが、和紙文化の継承と活用、観光等の地域活性化や交流つ

くりという点から、整合性がとれたものと考えています。

コミュニティの充実を

Q 地区民が一同に、集い・食・楽しむ「仮称」地区民フェスティバルを開催してはどうか。

A 生涯学習課長 地区民体育祭の振り返りなどの機会に紹介、意見を聞きたいと考えています。



石碑に綴った想いを忘れることはない



せきねよしのり 関根慶則議員
が町に問う！

自転車の安全

自転車通学の安全確保は

答弁 中学校統合準備委員会で協議します

Q 町の振興計画に「ユニバーサルデザイン」の考えに基づいた道路の整備」とあるが、その進捗は。

A 建設課長 高谷及び伊勢根地内で整備した町道228号線は「自転車の交通を前提とした幅の広い歩道」です。県が整備中の環状1号線において車道路側部分に幅1.5メートルの「自転車専用通行帯」を設置できないか検討中とのことです。当町においては自転車道の整備について実績や計画はありません。

Q 観光資源としての自転車道ルートの設定は。

A にぎわい創出課長 道の駅おがまち再整備事業と並行して、電動アシスト自転車等を活用したレンタサイクル事業の強化を計画しモデルコースの設定も検討中です。

Q 令和7年から現檜台中学校に自転車を通う生徒の安全確保は。

A 学校教育課長 自転車を通う生徒の安全確保はとても重要な課題です。保護者、管理職、安全教育主任を委員とした「中学校統合準備委員会」で検討協議を計画し、具体的な通学路設定の方向性や方針を決めていきます。



中学生はこの坂道を自転車に登下校？！



いがらしやすひろ 五十嵐康博議員
が町に問う！

公共交通

2024年問題の影響は

答弁 すでに路線バスの運行に影響が出ています

Q 2019年に導入された働き方改革関連法により、時間外労働の上限規制が施行された。ただし、バス・タクシー業界等は、社会的な影響が考慮され、2024年4月まで猶予期間が設けられた。間もなく期限を迎えることになるが、当町の公共交通に及ぼす影響は。

A 都市政策課長 運転者の労働時間を制限することによって、現行のダイヤを維持するためには、運転者を増員する必要が生じると考えられます。しかし、全国的に運転者不足は問題とされ、すでに「みどりが丘循環線」「小川パークヒル線」などの運行に影響が出ています。今後とも運転者不足が続くと、貴重な移動手段の存続が困難になると考えています。

Q 運転者不足の対策案のひとつとして「自動運転」があるが、どのように考えているか。

A 都市政策課長 現在、国において検討されている「ライドシェア」や「自動運転」は、どちらも将来的には必要になると捉えています。国や先進自治体の動向を注視し、研究していきたいと考えています。



乗れば守れるバス路線



すずきひでお 鈴木秀尚議員
が町に問う！

インフルエンザ

子供にワクチンの助成を

答弁 実施の可能性について研究します

Q インフルエンザが猛威を振るい、学級閉鎖が頻発している。平年と比べると、どのような状況か。

A 子育て支援課長 特徴として秋口から感染者が急増しています。10月現在、学級閉鎖が13学級、学校閉鎖が2校となっています。参考までに、令和4年度は学級閉鎖が2学級で、令和3年度はありませんでした。

Q インフルエンザに備えて予防接種をすると、4000〜5000円程かかる。2回接種が必要な12歳以下の子供だけでも、町として助成できないか。

A 子育て支援課長 インフルエンザの予防接種は、任意接種のため子育て世代には、経済的な負担が生じています。現在、当町では助成していませんが、他の市町村

によつては独自の助成（東秩父村は生後6ヶ月から18歳まで3000円一人2回まで・ときがわ町は中学1年生から中学3年生まで満額・嵐山町は中学3年生及び高校3年生のみ自己負担3000円）をしているところもありますので、当町も町民のニーズや実地している市町村の制度や課題の把握に努め、実施の可能性について研究します。



インフルエンザ予防で子供の健康を

1月17日現在、学級閉鎖26学級、学校閉鎖2校

桜や桃、菜の花などの各所を眺めるも一興。それらを茫洋と一望できる古寺の桃源郷も捨て難し。(F・Tさん 80代)

桃の花は春を彩ります。古寺の桃源郷は多種類の桜、ポケ等が里山に咲き乱れますよ。(S・Hさん 91歳)

東小川のバス通り。植えた花がずっと続いてきれいです。散歩していて癒されます。(S・Yさん 60代)

中爪普光寺のソメイヨシノが素晴らしい。子供のころから見えています。(Y・Mさん 67歳)

母を連れて、円光寺東側斜面の桜の下でお弁当。年々美しさを増し絶対おすすめ。(Y・Sさん 60代)



山口勝士議員が町に問う！

認知症対策

Q 「共生社会の実現を目指す認知症基本法」が成立した。この法律の意義は。

A 長生き支援課長 認知症の方の尊厳や、希望を持って暮らすための施策の推進。さらに国民の責務として、認知症への正しい理解と共生社会実現に寄与すること等、基本理念・基本方針が示されました。

Q 国と地方がその理念に向かつて「一体」になって認知症への施策を講じていくことになる。法律が成立したばかりだが、高齢化率4割の当町には、速やかな施策の検討と実施が求められるが。

速やかな施策の実施を

答弁 正しい理解と共生の実現を進めていきます

(令和6年4月(令和9年3月)でも、基本法の理念に基づき「認知症検診」や「認知症サポーター養成講座」の積極的な開催など、今後も認知症への正しい理解を深め広げるための取組を強化し、支え合いながら共生していける町の実現を推進していきたいと考えています。



認知症を共に考える機会(令和5年度福祉会議)



島崎隆夫議員が町に問う！

住民自治

Q 少子及び高齢化や、個人が尊重・優先される時代でもあり、行政区長の負担が増えたように感じる。負担軽減への取組は。

A 防災地域支援課長 区長会の研修会で行政区の抱える諸問題を提起し、共有を図りました。今後問題解決に向けて取り組んでいきます。

Q 活発な地域をつくること、がよい町づくりにつながる。コミュニティに対する助成の現状は。

A 防災地域支援課長 行政区運営費交付金のほかに「コミュニティ施設等整備事業補助金」「いきいき地域活動補助金」があり、地域住民同士の交流に寄与するための事業をしています。

Q 小中学校の再編が令和12年に完了する。その後の土地や建物の

行政区長の負担軽減は

答弁 諸問題を共有し解決に向けて取り組みます

利用を早急に考えながら、その時を迎えたいものである。地域コミュニティの活動場所としての利用も考えるべきでは。

A 防災地域支援課長 学校は地域のシンボリックな存在でもあると考えています。跡地は町全体の公共施設の在り方を踏まえて、地域住民の意見を聞きながら検討していきます。



地域のにぎわい(昭和47年頃の下横田地区夏祭り)



田中ただよし議員が町に問う！

広報おがわ

Q 「広報おがわ」に、かつて企画された「史跡めぐり」や「和紙の話」の復活を。

A 総務課長 これまで「町史編さんだより」「史跡めぐり」「サークル紹介」などをシリーズで掲載し、今後も連載すべきものがあれば、適宜、掲載していきます。また「かつての企画の復活を」については、その時々状況や関心度合いなどを踏まえていきます。

Q 役場と駅前「非核平和都市宣言の町」の懸垂幕の設置を。

かつての企画復活を

答弁 時々の状況や関心度合いを踏まえていきます

A 総務課長 非核平和都市宣言の懸垂幕は、町役場など町施設には取付けていませんが、「コソト、竹沢及び八和田公民館」に看板を設置しています。また、ホームページに「宣言文」を掲載し、平和への願いを発信しています。



平成元年の「広報おがわ」表紙



笠原英彦議員が町に問う！

環境問題

Q 当町に寄せられる苦情の中で一番多い「樹木や雑草の繁茂」についての対応や取組状況等は。

A 環境農林課長 環境保全条例の規定に基づき、職員が現地確認を行い、所有者を特定して電話や直接訪問、または管理リスクに関する国のリーフレットを同封した通知等を郵送し、改善に向けた対応を求めています。

Q ごみ減量化に努めていく必要があるのでは。

A 環境農林課長 「可燃ごみ」に含まれるリサイクル可能な雑紙などの分別の徹底や「生ごみ」の水切りダイエットを奨めています。今後も広報誌やホームページ、さらには出前講座等で周知していきます。

樹木等の繁茂への対応は

答弁 電話・訪問や郵送による通知を実施しています

A 町長ほか 令和5年度は、7社から120万円(10月末時点)の寄附を受領しています。私自身がトップセールスマンとなり、今後も企業に対して働きかけを行います。



一人一人の理解・実践がポイント

小川町議会だよりは

キャプション(写真説明)に「ダブル」

単なる説明ではありません。応援や問題提起など「魂」を込めてお伝えします。

青上・古寺地内で栽培される電照菊。お彼岸前の風物詩です。(O・Kさん 74歳)

松郷峠に向かう古寺入り口、まさに小川の桃源郷。何度も散策したくなる素晴らしい春の景色！(Y・Sさん 60代)

高谷地内のワイナリー。鮮やかな紫色のラベンダーが風に揺れ、光り輝いています。よ。(Y・Yさん 60代)

役場の桜。昔、小川小だった時、入学式に満開になる桜と子供たちの姿を思い出します。(M・Tさん 88歳)

東中グラウンド南側の土手一面に咲くタンポポ。(S・Nさん 30代)

腰越公園の桜の花の下ではお弁当を開くなど憩いの場として和やかな風景が見られます。(M・Yさん 72歳)

新シリーズ

16人の一歩!! 進み続ける 議会

いよいよスタート!
月1回の議会改革への議論

小川町の未来が、議員の皆さんにかかっています。私たち町民のためにしっかり取り組んでください



齋藤 修さん
(東小川5丁目)
SAITO Osamu



町民の期待に応えるために

「議会改革」といっても、求められる内容は様々だ。議長のもとに各議員から出され整理された内容は15項目。「どの課題から取り組むか」等、まずは小グループでの議論から進め、次のステップを決定していくことになった。



議会改革の一端を学ぶ

議会改革の老舗 長野県飯綱町を全議員で視察

「先進地から積極的に学ぼう」その思いは議会内にあふれた。早速、議会改革の先頭を進む飯綱町に視察を申し入れ、12月19日に実現した。「何のために改革が必要なのか」「どんな具体策を実現したのか」など、充実した視察となった。今後の議論に生かしていきたい。

今後も16人の議員間討議の状況を、議会だよりで「見える化」し、住民の皆さんに示していく。どうぞ期待!

議員の皆さんの活動を知ること
で、もっと小川
町のことを好き
になりたいです



四方田美穂さん
(前高谷)
YOMODA Miho

次の定例会は **2月29日(木)** 午前10時 開会予定

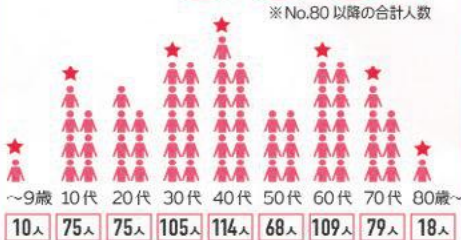
※日程は変更になる場合があります。詳しくは小川町ホームページへ



議員の 議員がインタビューした町民皆さんの数

聴く×つなぐ (★印は今号取材)

653人
※No.80以降の合計人数



●今号の表紙●

おがわまち「環境×サッカー教室」町と浦和レッズ・彩の国資源循環工場などが連携して開催したイベント。環境に配慮した行動がとれる未来の「リーガータチの活躍に期待!

編集後記 前号の発行前に今号の編集を開始!休む間もなく原稿に追われる日々。そんな中でも全国の市町村議会からの視察を受け入れ、当議会報への高い評価を再確認。疲れも吹き飛びました。人から人へ広がる広報になればこんなにうれしいことはありません。(山口)

発行責任者：小川町議会議長 高橋功人
編 集：議会広報発行特別委員会

委員長 山口勝士 副委員長 鈴木秀尚
委員 高瀬 勉・関根慶則
岡部久志・田端良成



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したUD(ユニバーサルデザイン) フォントを使用しています